

学区毎に区長さん方の声を聴く

開催日 ● 3月27日28日

- 区の議員候補者は
 - 女性や若い世代の候補者は
 - 1つの区に複数の議員がいる場合、区に議員がいない場合は
 - 区長と議員のそれぞれの役割は
- 以上4項目を中心にうかがいました。



● 深溝学区

● 幸田町議会は、2年前の議員選挙で、定数割れという事態になりました。定数割れは全国でも8町村しかなく、議会としても大きな問題として捉え、それを解消するため、議員全員でFT会(フリーストック)を毎月開催しています。区長さん方のご意見を今後の方策に生かしていきます。

- 議員の実働時間数についての質問があり、議会の回数や委員会の活動などについて説明。
- 活動の時間数は、それぞれの議員で異なっている。
- 現在の報酬では、子育ての人はなりにくい。
- 全国的に女性の議員が少ない。他国のように、制度化が必要。
- 女性で活動している人を発掘できないか。地元にとって、議員は必要。
- アンケート調査の方が意見を言いやすい。

● 豊坂学区

- 須美・永野・野馬区で議員一人出している。
- 候補者は、退職してからで、65歳以上のことになる。
- 本人より、家族が反対する。
- 若い人が、サラリーマンを辞めて出るの難しい選択。
- 子育てを終えた女性が良い。
- 落選した時や議員を辞めた時のリスクが大きい。年金もない。
- 3区で議員一人は、大変だが、現状維持が妥当。
- 大きい区の方が、女性を出しやすい。男性と女性一人ずつも可能では。



● 坂崎学区

- 現在は、個人の生活が優先しており、団体活動は低調になっている。
- 過去には、婦人会や青年団などの活動が活発で人材も育った。
- 議員は、行政へのパイプ役として必要だが、区の役員会に2人呼ぶことは無い。
- 諮問委員会で候補を決めている。
- 昔からの繋がり、地元との密着が強い人を選出した。
- 学区で1人の議員は絶対必要である。
- 報酬が少なく若い人は無理。兼業も難しい。
- 当選する人しか出せない。
- 女性が手を上げて知名度もなく、区の役員もしていないので推薦は難しい。
- 女性団体との話す場を作って意見を聞いてほしい。
- 議員の前に区の役員、学校内の役員をまず受けてほしい。
- 区長は、力仕事もあるので女性は無理。
- 議員の魅力を発信してほしい。
- 落選した後の生活が厳しいのでむやみに出せない。
- 議員が区にいないことも困ったことはない。



特集

シリーズ 1

議員のなり手不足解消に向けて

タウンミーティング

● 幸田学区



空席の1議席

- 区長経験者から選出したい。(知名度もあり区内の事を良く知る)
- 区から推薦したからには落とせない。
- 区の役員を選ぶのも苦慮している。
- 若い人の出馬は、生活基盤が保障されていないので難しい。
- 女性が出馬しやすい環境をまず整えるべき。(授乳室など)
- 区長と議員との連携は充分できている。
- 区内で人材は数人いる

と思うが手をあげない。

● 区内に議員がいなくても支障はないと思う。

● 4年に1度の選挙があるからハードルが高い。

● 議員の活動が見えない。

● 議員は区の選考会で決めている。

● 議員全員でのFT会(フリートーク)の内容を聞きたい。

● 区で何人ではなく、区内で何人という中選挙区制を取り入れるには。



● 荻谷学区

● 幸田区は落選リスクがあつて出せない。

● 荻の区画整理事業など議員は絶対必要。

● 区長の選任でも難しい中、議員はもつと

● 難しい。学区内の調整で2人は出せる。

● 若い世代は、共稼ぎで区役員も含め、リスクある議員は、特に難しい。

● 以前26人の議員が、今は16人だが、定数割れた要因は、小さな区は出れないから。

● この議員報酬では、生活できない40万円以上にアップを。

● 町政に関心がない方が多い。

● 議会傍聴で、議員の質問に感動した。

● 議員不在の地区は、復活が困難。

● 議員から情報が得られ、相談もできる。

● 幸田区は落選リスクがあつて出せない。



● 議員不在の役員会は、情報も無く物足りない。議員は必要。

● 中央学区

● 地区選考会で候補者を選ぶ。

● 過去、区内で3人いたときは、まとまりがなかった。

● 奥さんの賛同が得られない。

● 現職が議員の魅力を発信されたい。

● 現状は、女性2人男性13人平均年齢は67歳。

● 現職が議員の魅力を発信されたい。

● 月額報酬30万円では、家族を養えない。

● 区長に女性を登用し、議員候補に誘導を。

● 定数を2人増やせばハードル下がって、立候補しやすくなる。

● 増やさずに能力アップし、活動やチェックを。

● 小規模な区から出れない。定数増も必要。

● 議員は、町民の声を行政に届け、区長は、地元要望や苦情の処理。

● 議員と区長は、連携してやっている。

